

ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

第3期の運用状況について

2019年2月20日

平素は、「ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2019年2月19日に第3期計算期末を迎えました。分配金につきましては、当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、当ファンドの分配方針は以下のとおりとなっています。

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ②原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

《基準価額・純資産の推移》

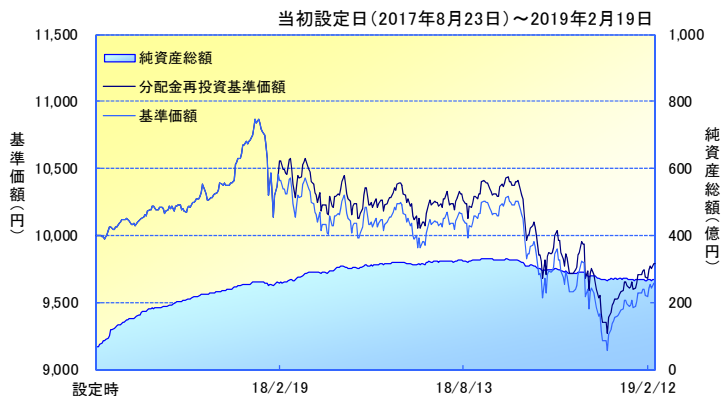
〈為替ヘッジあり〉

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

2019年2月19日現在

| | |
|-------|--------|
| 基準価額 | 9,646円 |
| 純資産総額 | 266億円 |

| 決算期 | (年/月/日) | 分配金 |
|--------|-----------|----------|
| 第1期 | (18/2/19) | 150円 |
| 第2期 | (18/8/20) | 0円 |
| 第3期 | (19/2/19) | 0円 |
| 分配金合計額 | | 設定来：150円 |



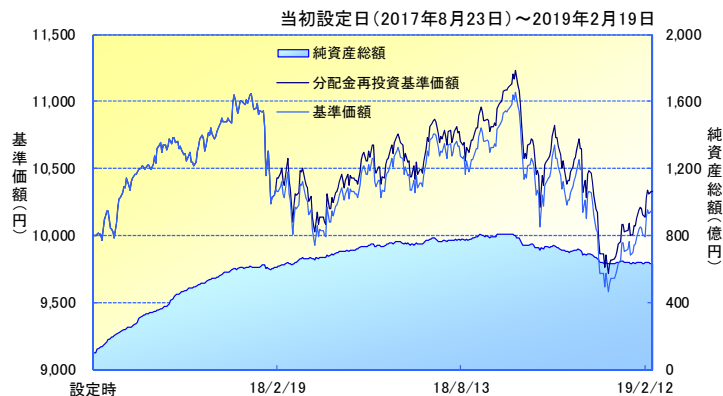
〈為替ヘッジなし〉

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

2019年2月19日現在

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 10,179円 |
| 純資産総額 | 634億円 |

| 決算期 | (年/月/日) | 分配金 |
|--------|-----------|----------|
| 第1期 | (18/2/19) | 100円 |
| 第2期 | (18/8/20) | 50円 |
| 第3期 | (19/2/19) | 0円 |
| 分配金合計額 | | 設定来：150円 |



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※ドイツ証券のコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

<投資環境(2018年8月17日～2019年2月15日(現地))>

米国株式

当指数は下落しました。2018年8月中旬から9月下旬にかけては、好調な企業決算や原油価格の上昇、米中貿易摩擦懸念の緩和を背景に米国株式は上昇し、当指数は上昇しました。10月に入ると、米中貿易摩擦懸念が再燃したほか中国景気への懸念、サウジアラビア情勢の不透明感から当指数は下落しました。12月には、世界経済の成長減速懸念や米政治の混乱から、当指数は下落幅を広げました。2019年1月上旬から2月中旬にかけては、米中通商協議への期待が高まったほか、FOMC(米国連邦公開市場委員会)において米利上げに慎重な姿勢が示されたことなどが好感され、当指数は上昇しました。

米国長期金利

当指数は上昇しました。2018年8月中旬から10月下旬にかけては、米政策金利の引き上げが決定されたほか、米雇用統計が堅調だったことなどから米長期金利が上昇し、当指数は下落しました。11月上旬以降は、当指数は上昇しました。12月には米国で利上げが実施されましたが、FOMCの声明文やパウエルFRB(米国連邦準備制度理事会)議長の発言が景気に配慮した内容でないと思われたことで、株価が下落し、債券市場の金利が低下しました。当指数は2019年に入っても、底堅く推移しました。

金

当指数は上昇しました。2018年8月中旬から9月下旬にかけては、9月と12月に実施が予想されていたFRBによる利上げが金相場の重しとなり、当指数は軟調な推移となりました。10月に入ると、世界的な株安や地政学リスクの高まりを受けて安全資産としての金の需要が高まり、当指数は上昇しました。12月には、株式市場の下落や米ドル安・原油安などを背景に金を買われ、当指数は上昇しました。2019年に入っても、FOMCの米利上げに慎重な姿勢などを背景に金は上昇し、当指数は上昇しました。

米ドルキャッシュ

米国の短期金利は政策金利2.00-2.50%(年率)近辺で推移し、当指数は緩やかに上昇しました。

米ドル/円為替市況

米ドルは対円で小幅上昇しました。2018年8月中旬から9月下旬にかけては、米国の堅調な経済指標やトルコを中心とした新興国市場への懸念が後退したことなどをを受けて、円安米ドル高となりました。10月下旬から11月中旬にかけては、米国の中間選挙をめぐる不透明感が後退したことなどから、再び円安米ドル高となりました。12月中旬から下旬にかけては、株価や原油価格が下落し、市場のリスク回避姿勢が強まったことから、円高米ドル安となりました。2019年に入ると、米国の雇用統計が好調であったことなどを背景に、2月中旬にかけて上昇しました。

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

＜ファンドの運用状況＞

各月末のリバランス後の実質的な投資対象の比率

| 資産 | 2018年8月末 | 2018年9月末 | 2018年10月末 | 2018年11月末 | 2018年12月末 | 2019年1月末 |
|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 米国株式 | 70.0% | 70.0% | 58.8% | 52.6% | 45.1% | 38.9% |
| 米国長期金利 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 6.6% | 13.4% |
| 金 | 16.3% | 13.2% | 8.5% | 5.8% | 2.9% | 0.0% |
| 米ドルキャッシュ | 13.7% | 16.8% | 32.7% | 41.6% | 45.3% | 47.6% |
| 合計 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

※実質的な投資対象の比率は、DBモメンタム・アセット・アロケーター指数(Deutsche Bank Momentum Asset Allocator Index Level Local)の各月末のリバランス後のウエイトを示したものです。当ファンドの投資成果はおおむね上記指数の動きを反映します。

パフォーマンス要因(2018年8月20日～2019年2月19日)

＜為替ヘッジあり＞

金の上昇がプラスに寄与しました。一方で、米国株式の下落がマイナス要因となりました。米国長期金利の寄与はほぼゼロでした。

＜為替ヘッジなし＞

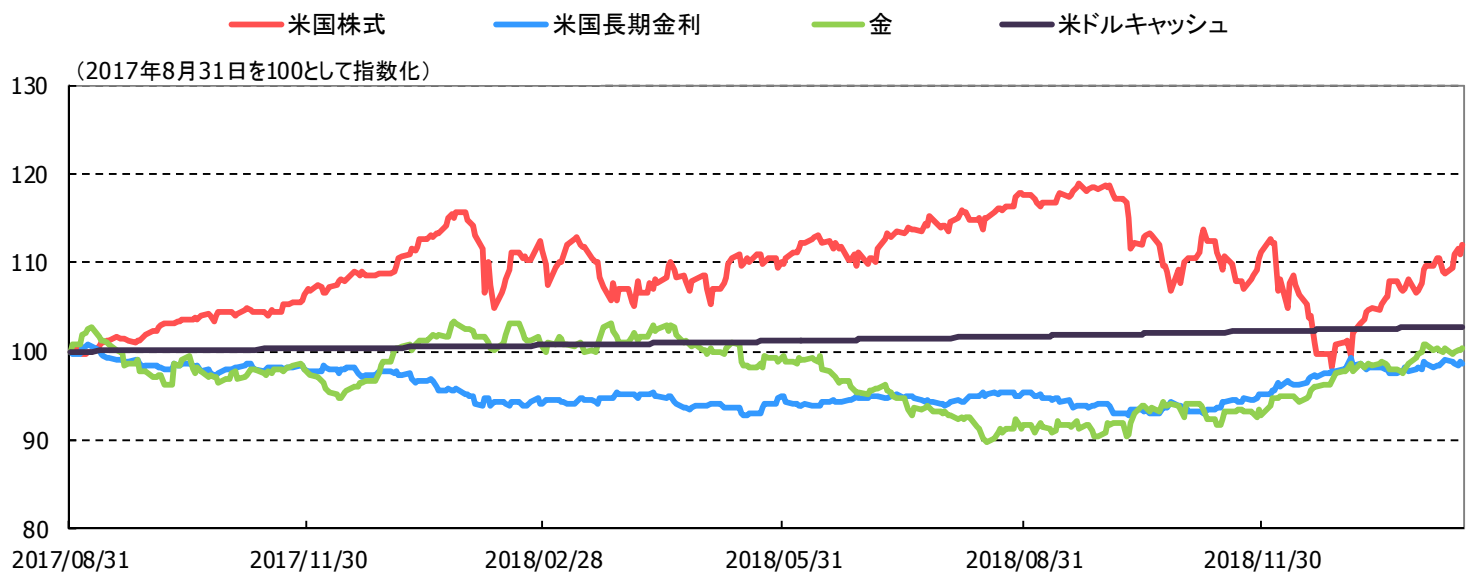
金の上昇と米ドルの対円での上昇(円安)がプラスに寄与しました。一方で、米国株式の下落がマイナス要因となりました。米国長期金利の寄与はほぼゼロでした。

＜今後の運用方針＞

引き続き、DBモメンタム・アセット・アロケーター指数の動きを反映した投資成果をめざして運用を行います。DBモメンタム・アセット・アロケーター指数では、4つの実質的な投資対象の一定期間のパフォーマンスを測定し、あらかじめ定めるルールにもとづき、配分比率の変更を月次で行います。

《参考》市況データ

(2017年8月31日～2019年2月15日)



(出所)ブルームバーグ

米国株式: Deutsche Bank Forward Equities Index

米国長期金利: Deutsche Bank Duration Bias Total Return Index Level Local

金: Deutsche Bank Gold Forward Index Level Unhedged

米ドルキャッシュ: Deutsche Bank Momentum Asset Allocator Cash Index Level USD

※指数の過去の実績を示したものであり、ファンドの実績を示したものではありません。また、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

米国の株式、米国の長期金利、米ドルキャッシュおよび金への配分を変更しながら、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 米国の株式、米国の長期金利、米ドルキャッシュおよび金を実質的な投資対象とします。
2. ドイツ銀行が開発したDBモメンタム・アセット・アロケータ指数の動きを反映した投資成果をめざします。
3. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

為替ヘッジあり

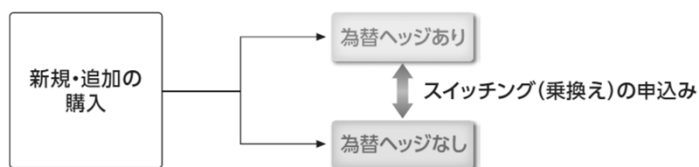
- 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし

- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

スイッチング(乗換え)について

- ◆「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



販売会社によっては「為替ヘッジあり」または「為替ヘッジなし」のどちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。また、販売会社によっては、スイッチング(乗換え)のお取扱いがない場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

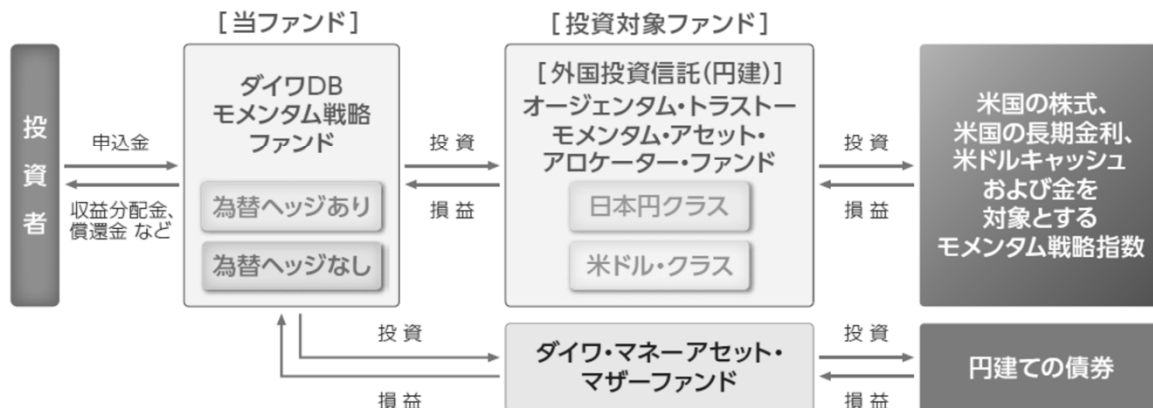
- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり)：為替ヘッジあり
ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし)：為替ヘッジなし
- ◆ 各ファンドの総称を「ダイワDBモメンタム戦略ファンド」とします。

ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。外国投資信託の受益証券を通じて、米国の株式、米国の長期金利、米ドルキャッシュおよび金に実質的に投資します。当ファンドが投資対象とする外国投資信託では、担保付スワップ取引を通じて損益を享受します。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「金の取引価格の変動」、「金利に関する取引価格の変動」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「デリバティブの価格変動」、「スワップ取引の利用に伴うリスク」、「当ファンドが実質的に活用する戦略に関するリスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。また、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 <上限> 3.24%(税抜 3.0%) | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | |
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 年率 1.161% (税抜 1.075%) | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 |
| 投資対象とする 投資信託証券 | 年率 0.775%程度 | 投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 |
| 実質的に負担する 運用管理費用 | 年率 1.936%(税込)程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) | |
| その他の費用・ 手数料 | (注) | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会